

# サプライチェーンキャッシュコンバージョンサイクル(SCCC)について

成長戦略KPIである「2023年までに、日本のサプライチェーン単位での資金循環効率（サプライチェーンキャッシュコンバージョンサイクル：SCCC）を5%改善することを目指す」について、SCCCの推移は以下のとおり。

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度*1	2020年度
SCCC	160.1日	158.1日	157.3日	157.7日	165.6日
(前年比)	-	-2.0日	-0.8日	+0.4日	+7.8日

\*1:通常SCCCの算出は3月末時点での年度末決算が出揃う6月を目処に実施。ただし、2019年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、有価証券報告書等の提出期限の延長が行われたため、決算が出揃った2020年10月時点で算出。なお、算出以降に決算修正がなされた場合においても、再計算は実施していない。

## 【参考】KPIとしてのSCCC算出方法

SCCCは東証一部上場企業（除く金融業）を対象に、最新の年度末決算\*1の有価証券報告書等に基づいて、連結ベースで以下の計算式で算出。

計算式：SCCC = 売上債権回転日数 + 棚卸資産回転日数 + 仕入債務回転日数

- 売上債権回転日数 = (受取手形・売掛金・受取手形割引高\*2の合計) ÷ 売上高 × 365
- 仕入債務回転日数 = (支払手形・買掛金・その他の短期債務の合計) ÷ 売上高 × 365
- 棚卸資産回転日数 = 棚卸資産\*3 ÷ 売上高 × 365

※対象を東証一部上場企業としているため、対象企業群は毎年異なる

\*1: 3月末時点での最新の年度末決算。日経NEEDS Financial QUESTより取得して算出。

\*2: 手形の支払期日が来る前に現金化することで、手数料や利息を差し引かれた手形のうち、支払期日が来ていないもの。

\*3: 前年度末棚卸資産残高と当年度末棚卸資産残高の平均値。